

第1号報告

令和2年度 事業計画

1. 通 常 総 会

令和2年(2020年)5月22日(金)アルカディア市ヶ谷において、第61回通常総会を開催する。

2. 理 事 会

理事会は原則として年6回以上開催する。

3. 委 員 会

[常設委員会]

常設委員会は以下のとおりで、委員会は必要に応じてその都度開催する。

- ・ 総務委員会
- ・ 会誌編集委員会
- ・ シンポジウム実行委員会
- ・ PCサステナビリティ委員会
- ・ PC技術規準委員会
- ・ PC鋼材委員会
- ・ PC技術講習会委員会
- ・ PC技士委員会
- ・ コンクリート構造診断士委員会
- ・ 国際委員会
- ・ PC工学会賞選考委員会
- ・ 公募研究課題選定委員会
- ・ PCアーカイブス委員会

4. 調査研究・資料収集事業

(1) 規準作成

1) PC技術規準委員会

委員会を2回開催する予定である。規準改訂に関して、活動が3年目となる「PC斜張橋・エクストラードボード橋設計施工規準(2009年2月)」の改訂小委員会(平成30年度～)は、委員会を1回、幹事会を1回開催し、改訂規準の意見照会および取りまとめを行う計画であり、12月中の改訂規準発刊および講習会の開催を予定している。また、「PC橋プレキャスト工法技術規準作成小委員会」を立ち上げ、今後2年間の予定で活動開始する予定である。

2) P C 鋼材委員会

構造物完成からすでに長年経過している既設構造物では近接目視以外での維持管理・点検の要求が高まっている。また今後建設が進められる新設構造物においても、構造物の長期耐久性確保や将来の点検コストを低減する目的で点検調査・モニタリングが可能な工法・装置等が求められている。P C ケーブルにおいても、その張力や腐食の状況を点検、モニタリング可能な技術のニーズが高まっており、張力計測ツールや腐食判定用検査ツールなどの適用が始まっている。これら P C ケーブルの維持管理・モニタリングに適用される技術ならびに各種ツールについて調査し、その活用促進を図ることで、P C ケーブルの信頼性向上につなげる提案を行う。また、P C 鋼材に関連する国内外の規準類の改定に関して、情報収集を行い、国内外の学会・委員会等に参画し、規準類への意見反映を図る。

(2) 公募研究

1) P C 複合津波防災構造委員会

令和2年度は、本委員会の3か年にわたる活動成果を広く公表するために、セミナーを東京にて開催する。また、セミナーでは委員による減災・防災に関する最新情報の提供も行う予定である。また、セミナー開催のための準備会を1回開催する。

(3) 受託研究

1) 連続繊維補強材の P C 構造物への適用に関する委員会

連続繊維補強材 (F R P) を用いた構造物の試設計やライフサイクルコスト計算を実施して、本材料の適性・優位性を示すほか、試設計から確認された課題、傾向を指針へフィードバックして、「繊維強化ポリマーのコンクリート構造物への適用に関する設計・施工指針 (案)」として最終とりまとめを目指す予定である。指針の発刊に伴う講習会 (東京) を9月に開催する予定であり、幹事会を2回開催する計画である。

2) 既設 P C ポストテンション橋の再生・補修・補強検討委員会

既設 P C ポストテンション橋の P C グラウトの再注入工法および補強用の外ケーブルの性能および性能照査方法を明らかにするとともに、当該工法を既設 P C ポストテンション橋に採用する場合の設計・施工法について、審議し技術指針を令和2年度内に作成することを目的に、委員会3回、幹事会6回、現地視察1回を開催する計画としている。なお、作成した技術指針については、令和3年度上半期に講習会を開催する予定としている。

(4) P C サステナビリティ委員会

サステナビリティ宣言の広報活動および継続的な見直しを目的として、本工学会主催行事の中でアンケート調査を実施していく。今年度は P C シンポジウムでのアンケート調査を実現するため、対応する委員会と調整していく予定である。また、アンケート内容や方法についても並行して検討を進める予定である。

サステナビリティ宣言に基づく本工学会の今後の活動についても、議論を進める予定で

ある。

(5) P Cアーカイブス委員会

本工学会ウェブサイトのP Cアーカイブスに収集できた資料を定期的に更新するとともに、そのメンテナンスおよび資料収集を継続的に活動する体制を構築する。会誌62巻6号までの短期連載「P Cの先駆者たち（人物編）」を終了したあと、1月末に「P Cの先駆者たち（人物編）（企業編）」をまとめた冊子を発行する予定である。アーカイブ化の理解と企画活動を順次進めていくため、委員会1回、幹事会および3WG（収集整理、システム検討、原稿企画）を計10回程度開催する予定である。

(6) 国際活動

1) *fib* 関連活動

総会、理事会、最高幹部会および各研究委員会に参加して、*fib* の重要な行事の企画、立案、運営、調査、研究活動に参画する。

2) *fib*シンポジウム

今回のシンポジウムは、2020年11月22日～24日（当初4月27日～29日開催予定を延期）に中国の上海市で開催され、本学会員の参加と情報発信に努める。

3) その他の国際対応

「P C工学会の国際化を進めるための企画・提言を行うこと、ならびに日本のP C技術を海外へ情報発信すること」を目的に、以下の活動を行う。

①工学会英文ホームページの更新

②海外学協会との連携についての検討

③日本のP C技術の海外普及策等についての検討

・ 規準類の英語化ならびに海外への普及についての検討

・ P Cシンポジウムの国際化についての検討

④ *fib* Commission 1, *fib* Commission 5に参加

⑤ミャンマーとの技術交流の計画および開催

⑥P Cシンポジウムの海外からの特別講演者招聘計画および対応

⑦上記特別講演者を交えたセミナーの計画および開催

⑧P C技術講習会テキストの作成および講習会講師

(7) 会誌等発刊

[会誌]

会誌は一般号および特定課題による特集号を、会誌編集委員会にて企画・編集を行い、年6回発行する。第62巻4号、6号、第63巻2号は特集号とする。62巻4号は「建築特集」とする。

5. 講習会等事業

(1) 技術講習会

[P C技術講習会]

第48回PC技術講習会は、令和2年6月2日（火）東京：江東区文化センターを皮切りに、6月4日（木）大阪：ドーンセンター、6月10日（水）広島：広島市西区民文化センター、6月11日（木）高松：ホテルパールガーデン、6月12日（金）札幌：ホテル札幌ガーデンパレス、6月16日（火）名古屋：ウイंकあいち、6月19日（金）新潟：新潟県自治会館講堂、6月23日（火）仙台：イズミティ21、6月25日（木）福岡：福岡国際会議場、の9会場において開催する。

(2) プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム

「第29回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム」は、令和2年10月29日（木）・30日（金）の2日間にわたり、「Gメッセ群馬」（群馬県高崎市）において開催する。実行委員会および各WGは、開催の準備、運営を行う。

その後、第30回シンポジウムは「函館市民会館」および「函館アリーナ」（北海道函館市）において令和3年10月21日（木）・22日（金）に開催する予定であり、その企画を行う。また、令和4年に中国地区での開催が決まっており、シンポジウム実行委員会で開催会場を選定する。

(3) 研修セミナー

1) 「コンクリート構造技術規準—性能創造による設計・施工・保全—」の発刊に伴うセミナー

PC技術規準委員会所管コンクリート構造設計施工規準改訂小委員会の成果として発刊した「コンクリート構造設計施工規準—性能創造による設計・施工・保全—」の講習会を昨年10月の東京、大阪に引き続き、福岡において令和2年5月12日（火）に開催する予定である。

2) 「PC斜張橋・エクストラードズド橋設計施工規準改訂版」の発刊に伴うセミナー

PC技術規準委員会所管PC斜張橋・エクストラードズド橋設計施工規準改訂小委員会が策定する「PC斜張橋・エクストラードズド橋設計施工規準改訂版」の発刊に伴うセミナーを東京、大阪において12月に開催する予定である。

3) 「PC津波防災セミナー—PC技術による津波防災構造物の提案—」セミナー

公募研究PC複合津波防災構造委員会の最終成果報告会として、令和2年5月27日（水）に建築家会館（東京都渋谷区）において「PC津波防災セミナー」を開催する予定である。

6. 資格認定事業

(1) プレストレストコンクリート技士資格制度

PC技士委員会、各小委員会を開催して、講習会、試験から登録、研修に至るまでの諸準備を行う。

1) プレストレストコンクリート技士試験講習会

標記講習会を令和2年9月7日（月）にアルカディア市ヶ谷において開催する。

2) プレストレストコンクリート技士試験

標記試験を令和2年10月18日（日）に東京：芝浦工業大学（芝浦キャンパス）、大阪：Y M C A国際文化センター、福岡：天神クリスタルビルの3会場において実施する。

3) プレストレストコンクリート技士の登録

プレストレストコンクリート技士試験合格者の登録，ならびに登録有効期間（4年間）満了となる資格者の申請により登録更新を行う。また，登録失効者に対しては，講習会の受講によって再登録を行う。

(2) コンクリート構造診断士資格制度

コンクリート構造診断士委員会，各小委員会を開催して，講習会，試験から登録，研修に至るまでの諸準備を行う。

1) コンクリート構造診断技術講習（eラーニング）

コンクリート構造診断士試験に先立ち，web上でのeラーニング講習を行う。今年度より講習受講は必須ではなく任意とした。eラーニングでの講習期間は3月1日から6月28日である。

2) コンクリート構造診断士試験

標記試験を令和2年7月12日（日）に芝浦工業大学（芝浦キャンパス）、大阪：Y M C A国際文化センター，福岡：天神ビルの3会場において実施する。

3) コンクリート構造診断士の登録

コンクリート構造診断士試験合格者の登録および講習会受講者の申請によりコンクリート構造診断士補の登録を行う。今年度は，2016年度（平成28年度）登録者の資格更新研修を実施する。研修方法は，昨年度までは研修報告書の提出をしていたが，今年度よりweb上でのeラーニング講習を行う。

7. プレストレストコンクリート工学会賞授与事業

プレストレストコンクリート工学会賞選考委員会にて，論文賞，作品賞，技術開発賞および施工技術賞の授賞候補を選考し，通常総会にて授与する。